

2 0 2 2 年度事業報告書

社会福祉法人 友朋会

I， 理念と運営方針の実践

経営理念

健やかでその人らしい生活の創造

運営方針

- ①コンプライアンス（法令遵守）の徹底
- ②人権の尊重
- ③家族・社会との連携
- ④地域移行の推進

サニーサイド憲章

“サニーサイド憲章”はサニーサイドの基本的な信念です。私たちはこれを理解し、自分のものとして受け止めて支援に臨みます。

- 1、 私たちは、利用者の安全を第一に考え、事故のない施設を作ります。
- 2、 私たちは、利用者が快適に過ごせるようにいつも気を配ります。
- 3、 私たちは、福祉の専門職として知識と技術を磨き、サービスの質の向上に努めます。
- 4、 私たちは、基本的な人間の品位をもってサービスの提供を行います。
- 5、 私たちは、常に清潔で、TPOにあった身だしなみを心がけます。
- 6、 私たちは、言葉遣いや態度・マナーに気を付け、いつも笑顔で接します。
- 7、 私たちは、職場ではもちろん、職場外でも福祉を担うものとしての誇りと自覚を持って行動します。
- 8、 私たちは、施設内で何か問題がないか、いつもすみずみまで注意を払います。
- 9、 私たちは、整理・整頓・清潔・清掃を徹底し、施設内をいつも綺麗に保ちます。
- 10、 私たちは、エネルギーの節約や環境保全に努め、施設の資産を守ります。
- 11、 私たちは、地域の一員として、地域福祉の向上に貢献します。

Ⅱ、法人概況

新型コロナウイルス発生から丸3年がたち、社会も新たな歩みが始まっています。サニーサイドでも以前の活動に少しずつ近づけているところです。2022年度にも新型コロナウイルスの感染拡大は治まるところを知らず、第6波、第7波、第8波と今まで以上に大きな感染流行の波が発生しました。サニーサイドでも第8波の終わりの2023年1月に、入所施設を中心にクラスターが発生しました。利用者・職員合わせ39名が罹患しましたが、幸いにも重症者は発生せず全員復帰しています。

事業の実施においては、長年取り組んでいるアール・ブリュット活動が少しずつ形になり始め、地域共生社会の実現にむけて進んでいるところです。

一方で、障がい者支援施設サニーサイドでは高齢化による退所者が年々増加し始めています。高齢者施設をはじめとした、次のステージを見据えたその人らしい生活の場の確保が今後必要となってくると感じています。また、サニーサイドワークセンターとグループホームの利用促進は、次年度には強化事項として取り組んでいく予定です。

職員の働き方についても今年度新設された法人事務局が中心となり、業務の効率化や働きやすさの整備に取り組んでいます。次年度は限定正職員制度の導入に向けて整備を進める予定です。

Ⅲ、主な事業の報告

サービスの質の向上と組織力の強化に向けて

①審査員賞受賞

①第5回日本財団「DIVERSITY IN THE ARTS」

2246点の中から7作家にのみ贈られる審査員賞受賞

②アール・ブリュット活動取り組み開始から14年目

②事務機能の一元化

①法人事務局新設により業務再編しガバナンスを強化

②法人事務局の役割を見直し

③請求システムマニュアル等の事務処理マニュアル を見直し

③業務効率化への取り組み

①各事業に役割としてのチーム（班）制度を導入

②施設維持班（主に環境維持・整備担当）他9チーム

③職員ひとりひとりの業務数及び実施の管理において 効率化

④専門性の向上

①2022年度 国家資格取得者 6名

（社会福祉士1名 介護福祉士3名 公認心理師2名）

②「資格取得補助制度」3年間で計4名が利用 制度利用者合格率100%

1, 法人本部 事業報告

法人の適切な運営に向けた業務のあり方の見直し

①事業内容

- ①法人全体の4事業所の総務・人事・労務管理
- ②理事会・評議員会の運営
- ③地域における公益的な取り組みの実施
生計困難者レスキュー事業、一人住まい高齢者訪問事業（停止中）、地域福祉相談室

②事業実施概要

- ①事務局設置による業務（医療費の管理方法、業務分担他）の見直しを実施
- ②事務処理マニュアルの更新（勤怠取り扱いマニュアル他2件）
- ③熊本県・菊池市指導監査（9/14）
⇒法人・各施設とも重大事項の指摘なし。

④理事会・評議員会の開催状況

	主な議案	承認方法	承認日
第1回理事会	2021年度決算 他7議案	決議の省略	6/11
第1回評議員会	2021年度決算 他2議案	決議の省略	6/27
第2回理事会	2023年度事業 計画他8議案	集合	3/27

⑤監事監査の実施

法人事務局にて実施（5/23） ⇒ 適正
2022年度事業報告・決算報告

2, 障がい者支援施設サニーサイド 事業報告

利用者をよりよく知ることによってサービスの質の向上につなげる

①事業所情報

サービス内容：施設入所 40名（男性21名 女性19名）
：生活介護 43名（男性22名 女性21名）
：短期入所 2名
平均年齢 : 52.5歳 平均障がい支援区分：5.8

②事業実施の概要

- ①日中活動（運動メニュー）の見直し
- ②暮らしの質の向上 安全な住環境の提供、寝具管理
マニュアル他8点の見直し
- ③健康管理
入院者（延べ5名206日）通院者（延べ2188名）
定期健康診断（年2回）、歯科検診（年1回）
- ④栄養ケアマネジメント
栄養栄養ケア計画(年2回)モニタリング(年12回)
スクリーニング(年4回)、嗜好調査(年2回)

⑤ケース研究・ケース検討の実施

(目的)

アセスメントの実施による行動の再分析を行う
ことで行動障害の軽減や構造化のための支援に
つなげる。

(実施事項)

項目	主な内容	実施回数	実施人数
ケース検討	再アセスメント	7回	27名
ケース研究	行動障害への対応	2回	2名

今吉光弘氏（熊本学園大学講師）によるスーパーバイズを実施

(効果)

- ・ 個人支援マニュアルの更新
- ・ 検討結果に基づいた行動予測によるリスク軽減

3, サニーサイドワークセンター 事業報告

就労支援事業 過去最高の売り上げ達成

①事業所情報

サービス内容：就労継続支援事業B型 15名
(男性8名 女性7名)

平均年齢 : 41.0歳

平均障がい支援区分：4.7

療育手帳：A1 3名 A2 5名
B1 5名 B2 1名 非該当 1名

②事業実施の概要

①委託作業受注

福田屋、インターナショナルミカル、不二コンクリート

②ハーブ事業の実施（ハーブ製品の製造販売）

新製品（個包装絵画ハーブティの作成）

③レンタルアート事業の実施（31枚レンタル中）

④販路の見直し（オンラインショップBASE開設）

⑤日常生活支援の実施

⑥工賃

2022年度平均工賃 **12,984円**

(2021年度 サニーサイド平均工賃 10,653円)

(2021年度 熊本県平均工賃 15,760円)

⑦部門別売上一覧表

委託・絵画部門での売り上げアップ

部 門	2022年度売上	2021年度売上	増減	前年比
委託作業部門	2,484,623円	1,873,193円	611,430円	132%
ハーブ部門	360,877円	406,258円	△45,381円	89%
絵画部門	844,000円	691,500円	152,500円	122%
その他部門	165,350円	161,618円	3,732円	102%
合計	3,854,820円	3,150,569円	704,281円	122%

委託作業（福田屋）の受託量増加

レンタルアート 2022年度新規契約 4件

4, 共同生活援助事業所サニーサイド 事業報告

健康管理の拡充

①事業所情報

サービス内容：共同生活援助（介護サービス包括型）

全9名 男性4名 女性5名

のばら 男性4名 女性0名

さくら 男性0名 女性2名

かえで 男性0名 女性3名

平均年齢 : 51.7歳

平均障がい支援区分：5.0

②事業実施の概要

①新住居かえでの開設（12/1）わかば閉鎖（12/31）

②利用料金自己負担分の改定

家賃・水光熱費の見直し

③余暇活動支援の見直し

クッキング・e-スポーツ等9種の実施

④健康管理

健康診断（年1回）、食事摂取量見直し（年2回）

健康診断個別説明会（年1回）

⑤ウォーキングポイントの導入

<目的>楽しみながら自身の健康への理解とそれに伴う自律性、自発性の向上につなげる。

<実施内容>

ウォーキングの歩数がポイントとして登録され、そのポイントにより景品等と交換できる制度。

参加者：8名、実施時間：朝夕・休日 20分程度

運動量：年間平均 1264歩/日（41.7kcal）

：年間最大 2630歩/日（86.8kcal）

<効果>

健康への意識の向上

体重維持・下肢力低下予防

5, 相談支援事業所サニーサイド 事業報告

対面での相談支援の再開

①事業所情報

サービス内容：特定相談支援 90名
：障害児相談支援 26名

②事業実施の概要

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
特定	相談（延べ）	29	27	24	19	19	25	25	40	26	13	29	26	302	89%
	計画	3	1	2	1	1	4	3	5	2	2	1	10	35	69%
	モニタリング	11	11	11	5	6	14	9	12	8	7	5	15	114	111%
障害児	相談（延べ）	11	15	17	15	7	13	13	21	22	4	8	13	159	79%
	計画	0	2	2	1	0	2	1	5	4	1	4	3	25	81%
	モニタリング	3	5	6	2	1	6	0	2	2	3	1	2	33	92%

①地域ニーズ調査報告

菊池圏域での障がい者居宅介護事業の縮小による供給不足
放課後等デイサービス事業の需要増大傾向

②相談方法及び内容

	訪問	来所相談	同行	電話相談	担当者会議	関係機関
特定	138	2	3	64	40	55
障害児	72	0	3	17	19	48

	福祉サービスの利用等	家計・経済に関する支援	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	就労	その他
特定	274	6	6	2	0	8	2	4
障害児	153	0	0	2	4	0	0	0

IV, データでみるサニーサイド

1, 職員数 : 48名 (男性16名 女性32名)

2, 雇用形態: 正職員34名 契約職員14名

3, 年齢構成: 平均年齢41.1歳

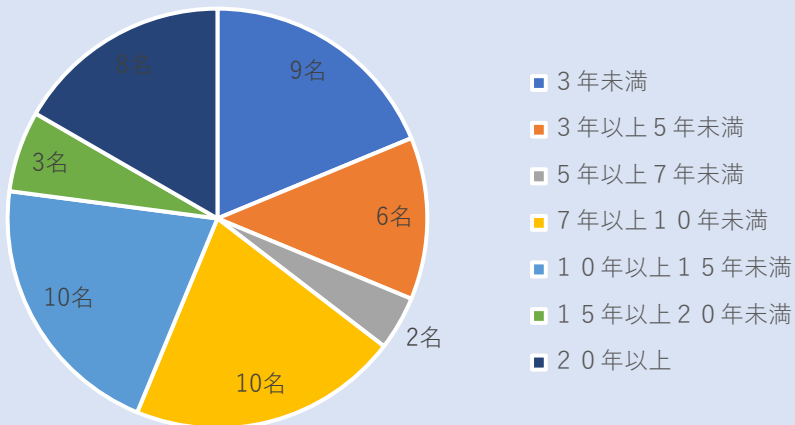
20歳代 13名 (27%)

30歳代 14名 (29%)

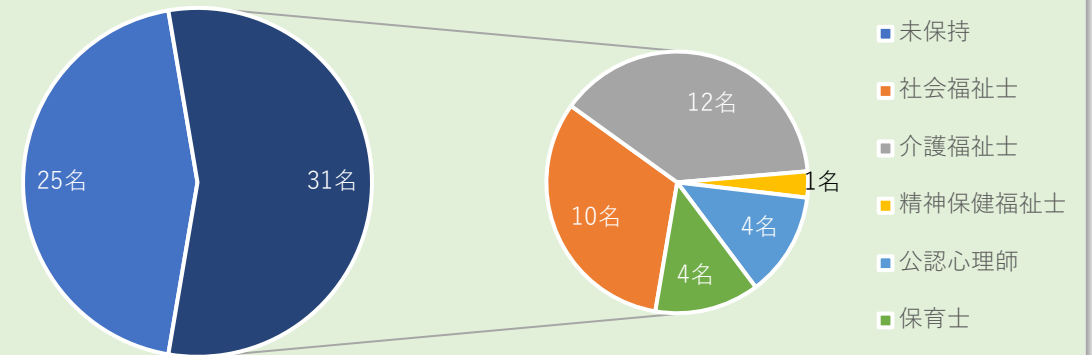
40歳代 11名 (23%)

50歳代以上 10名 (21%)

4, 勤続年数 平均勤続年数 11年4か月



5, 有資格者の状況 31名・55% (重複含む)



6, 研修状況 全68回実施 (のべ311名参加)

区分		主な内容	回数	参加
内部	特定	理念研修、人事考課研修等	3回	51人
	定期	感染症予防研修 等	4回	68人
専門		ケース検討会、リスクマネジメント研修 等	8回	123人
外部		中堅職員研修 等	53回	69人

7、有給休暇取得率

年度	法人	全国平均
2022年度	105.1%	—
2021年度	85.9%	58.3%
2020年度	84.7%	56.6%

※1 付与日より1年未満の者は1年間の取得見込みとして換算

※2 当年度取得日数（見込み）／当年度付与日数で算出

8、離職率

年度	法人	全国平均
2022年度	12.2%	—
2021年度	7.4%	12.0%
2020年度	3.8%	11.5%

※2 全国平均値は福祉医療機構調査結果より抜粋

9、社会福祉士ソーシャルワーク実習

3名（のべ52日間）

（熊本学園大学社会福祉学部）

10、障がい支援区分と利用率

サービス名	障害支援区分						当年度利用率	前年度利用率
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1		
施設入所支援	34	4	2	0	0	0	101.1%	102.7%
生活介護	35	6	2	0	0	0	105.5%	107.8%
短期入所	-	-	-	-	-	-	-	-
日中一時	-	-	-	-	-	-	-	-
就労継続支援B型	5	5	2	1	2	0	73.2%	66.6%
共同生活援助	4	2	2	1	0	0	61.3%	60.3%
相談支援（特定）	-	-	-	-	-	-	100.0%	97.8%
相談支援（児）	-	-	-	-	-	-	89.7%	80.5%

11、施設・事業所実習

11名（のべ39日間）

（菊池支援学校、大津支援学校、熊本支援学校

小国支援学校、個人体験利用）